

ARB	各病院コメント
三次中央	引き続き、アジルサルタン20mgとオルメサルタン20mgがほぼ同量でトップでした。テルミサルタン40mgが微増していました。
三次地区医療センター	アジルサルタン増加、他は全て減少しています。フォーミュラリ外の薬剤も減少し、推奨薬の比率は上昇していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ARB全体の使用量が減っている。特にオルメサルタン錠20mgの使用量が前月と比べ減少。また、アジルサルタン錠20mgの使用量も減少している。
府中北市民病院	使用量変わらず
PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	引き続き、ランソプラゾール15mgが断トツでトップでした。ボノプラザンは横ばいでした。
三次地区医療センター	推奨薬は全て低下、ボノプラザンのみ横ばいでした。推奨薬の比率はやや低下しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ラベプラゾールの使用量が先月と比べればかなり落ち込んでいる。ラベプラゾール全体と比べても使用量の少ない月となった。
府中北市民病院	ランソプラゾール:減 ラベプラゾール:増 エソメプラゾール:減
スタチン	各病院コメント
三次中央	ロスバスタチン2.5mgが微増していました。
三次地区医療センター	推奨薬はほぼ半減、プラバスタチンは増加していました。推奨薬の比率は低下ですが、長期的にはほぼ横ばいです。プラバスタチンはかかりつけ医の処方継続例で、新規処方はないようです。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	先月と比べると使用量は減っているが、それ以外の月と比較すると増減はほぼないといえる。
府中北市民病院	使用量半減
α -GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボース、ミグリトールともに先月よりもさらに減少しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	先月と比べると使用量は減っているが、それ以外の月と比較すると使用量は多い。
府中北市民病院	使用量減
抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	全体的に減少傾向でした。
三次地区医療センター	フェキシフェナジンのみ増加、他は減少しオロパタジンは処方なしです。(ビラスチンは後発品に変更しました。)
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている。(7/8ビラスチンOD錠採用)
西城市民病院	オロパタジン5mg以外の使用が減っている。対象患者が減ったことにより使用量が減ったと思われる。
府中北市民病院	使用量増(退院処方の影響)
消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	アセトアミノフェン細粒は5月に急激な減少が見られ、それ以降も処方量は少ないです。
三次地区医療センター	全ての薬剤が減少していました。先月よりも定期処方日が少なかった影響もあると思われます。
庄原赤十字病院	アセトアミノフェン500mg処方診療科拡大により使用量が先月よりも多かった。それに伴い200mg錠の処方量が減少したと考えている。ロキソプロフェンも採用後、安定的に処方されている。(7/15ロキソプロフェン錠採用)
西城市民病院	全体的に使用量が減少している。特にロキソプロフェンやセレコキシブの使用量が減っている。
府中北市民病院	使用量変わらず
歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	推奨薬、オプション薬ともに横ばいでした。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	なし

ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	リセドロン酸は減少傾向、ミノドロン酸は上昇傾向でした。
三次地区医療センター	アレンドロン減少、ミノドロンは処方ありませんでした。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用量に変化なし
府中北市民病院	使用量増(退院処方の影響)

ヘルペス薬	各病院コメント
三次中央	処方量は減少しています。
三次地区医療センター	処方なし
庄原赤十字病院	対象患者が少なく先月より処方量は減少した。
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	使用量増

Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	推奨薬もオプション薬も横ばいでした。
三次地区医療センター	処方日が少なかったためか推奨薬は全て減少しています。 オプションのアゼルニジピン、シルニジピンは増加、ベニジピンは大きく減少していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ニフェジピンCR錠20mgの使用量が減少している。
府中北市民病院	使用量増

グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	レバグリニド0.25mg、ミチグリニド10mgともに経時的に微増していました。
三次地区医療センター	レバグリニドやや減少、ミチグリニドは処方なし。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	なし

多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	処方なし。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	直近6ヶ月のうちで1番使用量が多かった。
府中北市民病院	なし

尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	処方日が少なかったためか、全ての薬剤が減少しており、総数は半減しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	前月よりも使用量が減っている。全体としても少ない使用量となった。
府中北市民病院	全体的な使用量変わらず

消炎・鎮痛用(貼付剤)	各病院コメント
三次中央	100mgの処方量が断トツです。
三次地区医療センター	ロキソプロフェンテープは大きな変動はなく、6月～横ばいです。
庄原赤十字病院	7月分と同様にコメント記載なし(集計作業を再依頼します)
西城市民病院	消炎鎮痛薬の使用が減っているが、貼付剤の使用も減ってきている。
府中北市民病院	使用量減